

第22回
大野郡5町2村合併協議会
会議録

第 2 2 回大野郡 5 町 2 村合併協議会議事録

開催日時	平成16年10月15日(金)午後3時 ~ 午後3時30分
開催場所	緒方町中央公民館 ホール
出席者	別紙
経過報告 議 事	(経過報告) 議案 議案第 24 号 平成 1 6 年度大野郡 5 町 2 村合併協議会会計補正予算(第 2 号) について 報告 報告第 23 号 大野郡 5 町 2 村合併協議会公立医療施設総合検討専門委員会報告 について 協議事項 < 継続協議 > 協議第 61 号 病院・診療所の取扱いについて 「協定項目第 35 号」 その他 合併協定項目のまとめについて 今後のスケジュールについて
議 長	大野郡5町2村合併協議会 会長 芦 刈 幸 雄

会 議 次 第

1. 開会あいさつ
2. 会長あいさつ
3. 開催地村長あいさつ
4. 経過報告
5. 議事録署名人の指名について
() ()
6. 議事

議案

議案第 24 号 平成 16 年度大野郡 5 町 2 村合併協議会会計補正予算 (第 2 号)
について

報告

報告第 23 号 大野郡 5 町 2 村合併協議会公立医療施設総合検討専門委員会報告
について

協議事項

< 継続協議 >

協議第 61 号 病院・診療所の取扱いについて 「協定項目第 35 号」

7. その他
合併協定項目のまとめについて
今後のスケジュールについて
8. 閉会あいさつ

第22回大野郡5町2村合併協議会出席者名簿（平成16年10月15日開催）

町村名	職名	氏名	備考
三重町	三重町長	芦刈 幸雄	会長
	三重町議会議長	生野 照雄	
	三重町新市まちづくり委員会委員長	小野 幸義	
清川村	清川村長	森 健一	監事
	清川村議会議長	江藤 秀明	
	清川村新市まちづくり委員会委員長	衛藤 康晴	
緒方町	緒方町長	山中 博	副会長
	緒方町議会議長代理（副議長）	後藤 泰彦	
	緒方町新市まちづくり委員会委員長	大塚 尊俊	
朝地町	朝地町長	羽田野 昭太郎	
	朝地町議会議長	浅野 益美	
	朝地町新市まちづくり委員会委員長	森 憲一	
大野町	大野町長	佐伯 和光	
	大野町議会議長	清田 満作	監事
	大野町新市まちづくり委員会委員長	大野 晃達	
千歳村	千歳村長	阿南 宏	
	千歳村議会議長	高野 健治	副会長
	千歳村新市まちづくり委員会委員長	宮成 三生	
犬飼町	犬飼町長	山村 昭三	
	犬飼町議会議長	若松 成次	
	犬飼町新市まちづくり委員会委員長	佐藤 忠憲	
大分県	大野地方振興局長	林 満男	
事務局	局長	赤嶺 信武	
	次長	倉原 浩志	
		田北 厚生	総務班
		和田 裕之	産業部会
	局員	佐保 正幸	総務部会
		後藤 将彰	
		清水 康士	企画部会
		衛藤 成史	文教部会
		佐藤 浩	
		内田 健児	民生部会
		関谷 隆一	
		隈田原 勇次	建設部会
		池永 善博	
	首藤 英治	総務班	

赤嶺事務局長

8月23日以降2カ月ぶりの協議会でございますが、どうぞよろしくお願いいいたします。司会進行を致します、合併協議会事務局長の赤嶺と申します。どうぞよろしくお願いいいたします。それでは、ただ今より第22回大野郡5町2村合併協議会を開会させていただきます。開会に当たりまして協議会規約第10条第1項により、本日の会議は成立していることをご報告申し上げます。

早速、会議次第に入らせていただきたいと思います。まず開会のごあいさつを、副会長であります、高野健治千歳村議会議長にお願いいいたします。

高野副会長（千歳村議会議長）

皆さんこんにちは。すっかり秋らしくなってきましたが、また刈り入れ等でご多忙のところを、こうしてお集まりいただきありがとうございます。ただ今より5町2村合併協議会を開催致します。よろしくお願います。

赤嶺事務局長

ありがとうございました。続きまして、会長あいさつを芦刈会長よろしくお願いいいたします。

芦刈会長（三重町長）

皆さんこんにちは。本日は第22回の大野郡5町2村合併協議会を開催致しましたところ、委員の皆様方には大変お忙しい中にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。これまで、8月23日の第21回の協議会までに71案件のうち70案件の協議決定をいただいたところでございます。そのうち、継続協議となっております、協議第61号の病院・診療所の取扱いにつきましては、専門委員会の最終報告を待って協議をいただくということで第21回の協議の折にもご了解をいただいたところでございます。専門委員会につきましては、去る3月17日の第1回委員会の開催から昨日まで12回の委員会が開催をされまして、最終報告書がまとめられまして、本日先ほど開催をされました町村長連絡会におきまして、専門委員会の委員長であります土生委員長から私の方に報告書が提出をされたところでございます。

専門委員会の土生委員長をはじめ委員の皆様方には、これまで12回の委員会でご協議をいただきまとめをしていただきまして、誠にありがとうございました。そのご労苦に対しまして、心から感謝と御礼を申し上げます。また、この委員会に協議会の委員であります、大野町の佐伯町長さん。それから、三重町の生野議長さんも入っていただいておりますが、これまでのご労苦に対してまして、重ねて感謝を申し上げる次第でございます。本当にありがとうございました。先ほど申し上げましたが、本日は最終報告をいただきましたことを受けましての協議会でございますが、ご協議をいただきますようよろしくお願い申し上げます。開会に当たりましてのごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいいたします。

赤嶺事務局長

続きまして、地元町長であります山中町長のごあいさつをお願いいいたします。

山中委員（緒方町長）

こんにちは。本当に秋の気配が濃くなりましてちょうど農繁期にも入ります。何かと忙しい時期に本町で協議会を開催されますことを歓迎申し上げます。もう何度になりましたか、この会場も使ったわけではありますが、いよいよ大詰めを迎えたところであります。よろしくご検討をいただきますように、お願い申し上げます。ごあいさつに代えたいと思います。どうぞよろしくお願いいいたします。

赤嶺事務局長

ありがとうございました。本日のこの会場は、緒方町職員の方々のご協力をいただきまして準備することができました。事務局からもお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。それでは引き続きまして、事務局より経過報告を致します。

資料の1の1ページをご覧くださいと思います。8月23日第21回の協議会を行っております。8月24日に第7回の公立医療施設総合検討専門委員会。9月1日に第22回の幹事会を行っております。9月3日ではありますが、第1回の福祉事務所事務引き継ぎの打合会を行っております。

9月8日第8回の公立医療施設総合検討専門委員会であります。9月16日第23回の幹事会を行っております。2ページ目ではありますが、9月20日第9回の公立医療施設総合検討専門委員会を行っております。9月22日第31回の町村長連絡会を開催しております。10月4日第24回の幹事会を行っております。

10月6日第10回の公立医療施設総合検討専門委員会を開催致しております。10月7日第32回町村長連絡会。10月8日第11回の公立医療施設総合検討専門委員会を行っております。

10月9日の土曜日ではありますが、第33回の町村長連絡会を開催しております。10月14日昨日ですが、第25回の幹事会、そして第12回の公立医療施設総合検討専門委員会を行いまして、最終報告をいただいたところであります。本日10月15日になりますが、第22回の協議会というふうになっております。

以上で経過の報告を終わります。次第の5以降につきましては、協議会規約第10条第2項によりまして、会長が議長を務めることとなっておりますので、会長よろしくお願ひいたします。

芦刈会長（三重町長）

はい。5番目以降につきましては、私の方から議事の進行をさせていただきますので、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。5番目の議事録署名人の指名について、でございますが、大野町町長の佐伯町長さん。それから、犬飼町議会議長の若松議長さん。お二方によるようお願いをしたいと思います。お二方どうぞよろしくお願いを致します。それでは、早速でございますが議事に入らせていただきます。議案でございますが、協議第24号平成16年度大野郡5町2村合併協議会会計補正予算（第2号）について、議題と致します。事務局、説明をお願いします。

事務局（総務班 田北）

総務班の田北です。よろしくお願いします。では、資料1の3ページをお開けください。議案第24号平成16年度大野郡5町2村合併協議会会計補正予算（第2号）について。歳出予算の補正のみです。第1条歳出予算の補正の項目の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳出予算の金額は、「第1表歳出予算補正」による。次のページの4ページをご覧ください。報酬につきましては、今回503,000円の増です。専門委員会と小委員会の回数の増によります。需用費の欄でございますが、節内補正というふうになっております。印刷製本費90万の減、これは建設計画の印刷費の減でございます。光熱水費、電気料ですが90万の増、これは電算室の今後発生します電気料でございます。役務費につきましては455,000円の増、これは電算室の電話回線の使用料ということになります。予備費からということで、予備費を984,000円の減ということで、歳出予算補正総額ではプラス、マイナスゼロというふうになります。以上です。

芦刈会長（三重町長）

はい。ただ今、会計の補正予算（第2号）につきまして説明がございましたが、何か質問意見等がありますでしょうか。よろしゅうございますか。それでは、決定をさせていただきます。ありがとうございます。

続きまして報告でございますが、報告第23号大野郡5町2村合併協議会公立医療施設総合検討専門委員会報告について、でございます。このことにつきましては、これまで公立医療施設総合検討専門委員会協議をされまして、先ほどあいさつの中でも申し上げましたが、本日開催の町村長連絡会でありまして、専門委員会の土生委員長から報告をいただきました。私は専門委員会での十分の議論を待つという立場から、協議会の開催延期を各町村の委員の皆様方をお願いをいたしました。これまで延べ12回の委員会で協議をされました専門委員の皆様、またその間の協議会延期で日程調整等、さまざまな対応をしていただきました当協議会の委員の皆様方に対しまして、この場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。それでは、専門委員会の報告書の内容につきまして、事務局説明をしてください。お願いします。

倉原事務局次長

報告書の資料を今お配りしておりますので、少々お待ちください。

では、事務局次長倉原であります。私の方から報告書についてのご説明を申し上げます。行き渡りましたでしょうか。ではまず1ページ目から3ページが報告書の全文でありますので、これは読み上げたいと思います。

報告書。公立医療施設総合検討専門委員会は、大野郡5町2村合併協議会の付託によって、公立おがた総合病院ならびに清川村国民健康保険直営診療所が、公立の医療施設として担うべき役割、他の医療施設との連携、機能分担に関する事項、経営形態、地域医療の在り方と経営効率化について、平成16年3月から今日まで、12回にわたって審議を重ねてきた。時間的な制限の中で、審議が十分に尽くされたとは言いがたいが、委員会として付託された事項について報告書をまとめたので、大野郡5町2村合併協議会公立医療施設総合検討専門委員会設置規程第7条により報告する。

「清川村国民健康保険直営診療所に関して」

1) 中間報告にあるように、現行の設備、診療体制に基づき初期診療及び在宅医療等の支援を基本に、医療、保健、福祉の総合提供、いわゆる地域包括ケアを基本的役割とする。2) 新市移行後、国保直営診療所として、経営の収益性を高めるように努める。ただし、新市に移行後、直ちに「公立医療施設評価委員会(仮称)」これは仮称でございます。にて、民営化、公立おがた病院の付属診療所への移行も含めて経営形態を検討する。以上であります。

続きまして、「公立おがた総合病院に関して」

1) 公立おがた総合病院は、地域住民の安心と安全を守るため、地域医療の充実に努めるものとする。そのため、地域にある医療機関との連携を深め、小児医療、救急医療、保健、福祉を含む包括的医療の充実に寄与すべきである。

2) 地域医療確保のため、現行の診療体制を基本に、県立三重病院等と連携を取り、相互に補完し合いながら、政策医療、二次医療を担うこととする。特に小児医療、救急医療については、今後とも、病院と診療所の機能分担を明確にし「病診連携」「病病連携」の理念のもと、広域に及ぶ連携を積極的に推進する必要がある。

3) 経営形態については、地方公営企業法全部適用(以下全適と表記)全部適用を新市発足より2年半以内に実施する。全適にすることは、現在の国の財政措置を考慮し、病院を取り巻く諸問題を自立的に解決し、経営責任を明確化でき、病院管理室の設置という負担はあるがより効率的な経営を実現できる可能性がある。全適実施後2年以内に経営が好転しない場合は独立行政法人、公設民営化等さらに独立性を高めた経営形態を「公立医療施設評価委員会(仮称)」にて再検討する。

4) 経費面では最も構成割合の高い給与費の抑制が最大の課題である。自立した経営にあたっては、収支バランスを検討し、より収益性を図るため、職員給与の見直しを実施する。そのほか外部委託、適宜適正な職員配置、非常勤職員等の柔軟な活用等あらゆる経費節減の努力を検討実施すべきである。なお設備投資にあたっては、収益性を考慮し、経営上過大な負担にならないよう努める。

5) 一般会計からの繰り出しは現在の基準ないしはそれ以下とする。繰り出し基準は定期的に見直す。3ページであります。

6) 減価償却費等をその原資とする損益勘定留保資金は、可能な限り繰り上げ償還に活用する。

7) 外部監査制度の導入及び病院事業管理者の公募並びに新会計基準の導入を検討する。

最後ですが、「公立医療施設評価委員会(仮称)の設置」以上の報告事項を実施するための検証期間として、新市発足後直ちに「公立医療施設評価委員会(仮称)」を設置する。報告の具体的実施の監査・検証を趣旨とするが、具体的には、全適への移行状況の検証、新市発足後の経営状況の把握、評価、経営改善策実施後の検証、さらに全適移行後もその経営状況を検証し、改善が期待できない場合はさらなる経営形態の検討検証等を行う。また、清川診療所の経営形態を含めた経営状況の検証も行う。本委員会は、情報公開の原則にのっとり会議、資料を公開する。地域医療確保の観点から開設者、管理者、学識経験者及び民間関連団体より地方自治法第174条により委員会を設置する。

以上が報告書の全文であります。4ページに、平成16年7月21日にご報告致しました中間報告・論点整理を付けております。また、5ページ、6ページに、先ほど申し上げました最終報告に至る経緯と致しまして、専門委員会の中で出された意見や付記すべき事項などをまとめております。後ほどご一読いただければと思っております。7ページ、8ページに、これまでの開催記録を載せております。12回、小委員会を含めると述べ50時間以上の会議、委員会で行いました。また、9ページ以降に設置規程、委員会名簿を付けております。以上で説明を終わります。

芦刈会長(三重町長)

はい、ありがとうございました。ただ今、報告第23号大野郡5町2村合併協議会公立医療施設総合検討専門委員会報告について事務局の方から報告を申し上げましたが、何か報告につきましてご質問がありましたら、ご質問を受けたいと思っております。事務局として、お答えができる範囲の質

問についてお答えをさせていただきます。

何かございませんでしょうか。よろじますか。はい。それでは、ありがとうございます。続きまして協議でございますが、継続協議となっております協議第 61 号病院・診療所の取扱いについての協議でございます。このことにつきましては、本日はこれまで提案を致しております病院・診療所の取扱いにつきましては、専門委員会の結論を待って協議をすることとなっておりますので、本日ただ今報告のありました専門委員会の結論をもとに、次回の協議会で提案しております協議第 61 号病院・診療所の取扱いについて、専門委員会の結論を踏まえ、合併までに調整をするということにつきましては、本日の段階では、各町村にお持ち帰りをいただきましてご協議をいただきたいというふうに思っておりますが、いかがでしょうか。

よろしゅうございますか。はい、そのようなことで、お持ち帰りの上、協議をいただきたいというふうに思っております。

以上で協議第 61 号病院・診療所の取扱いにつきましては終わらせていただきます。

次に、その他でございますが、合併協定項目のまとめについて、事務局よろしく願います。

事務局（総務班 田北）

総務班の田北です。よろしく願います。それでは、資料 2 をご覧になっていただきたいと思えます。これまで 52 項目の合併協定項目のうち、51 項目が確認されております。それで、51 項目につきましてもまとめてみました。まず、一番始めのページをご覧になってください。まとめにあたって、まず、番号を通番とする。今までの提案の中に、その 1、その 2 とかいう出し方をしてきましたので、番号が 1 番から取ったり、また 1 番から取ったりというふうになっておりますので、それを通番とする。それと、人数の表記を 人 に統一する。何名というのを 人 に。接続語の整理をする。重複する語句を省く。語句の整理をするという観点からまとめております。

それでは、代表的なものについてちょっと説明をさせていただきます。資料の 2 ページをお開けください。協定項目 7 号ですが、農業委員会委員の定数及び任期の取扱いですが、これの(2)番、そここのところの末尾に、30 人とするとあります。これが確認された時は 30 名という言葉を使っておりますので、語句の統一ということで人にしております。

続きまして 5 ページをお開けください。協定項目 12 号ですが、特別職の身分の取扱い。この中で、(1) これの 2 行目ですが、給与の額は、現行の給与額及び同規模というところで、給与という言葉が出ておりますが、これが確認された時の語句は報酬というふうになっております。正式には給与ですので、ここで給与に改めるといことです。

13 ページをお開けください。ただ今、会長の方から説明がございました協定項目 35 号病院・診療所の取扱いにつきましては、現在提案しております文言のまま現状のところは載せさせていただいております。そして 17 ページをご覧になってください。17 ページですが、協定項目 44 号建設事業の取扱いにつきましても(6) ですが、土地開発公社の取扱いについて、これにつきましては、このページでは土地開発公社については新市においても存続する。というふうにあります。確認された時は、この後に、ただし詳細については三重町・大野町の公社理事会の協議結果を尊重し、合併までに調整するという文言が入ってございましたが、三重町におきましては、公社がもう今存在しないということになりましたので、この語句を省くということになっております。以上、いくつかの例を申し上げました。以上で報告を終わります。

芦刈会長（三重町長）

その他の方で、まず 1 の合併協定項目のまとめについてということで、今、事務局の方から説明を申し上げましたが、よろしゅうございますか。はい、ありがとうございます。続きまして、今後のスケジュールについて事務局お願いを致します。

赤嶺事務局長

資料 1 の 6 ページをご覧いただきたいと思えます。次回の合併協議会でありますが、第 23 回、空白しておりますが、先ほどの町村長連絡会で決定を致しましたので、ご報告を申し上げたいと思えます。次回につきましては、10 月の 22 日午後 3 時から朝地町公民館のホールで開催をさせていただきたいと思えます。よろしく願います。以上です。

芦刈会長（三重町長）

はい。今後のスケジュールについて、今、事務局から説明を申し上げましたが、よろしゅうございますか。

小野委員（三重町新市まちづくり委員会委員長）

三重町のまちづくり委員長の小野でございますが、今までのスケジュールに比べますと、若干ちょっと余裕があったのではないかという気も致しますし、現在、今私たちが帰ってまちづくり委員会を開催するにしても、非常に農繁期でもありますし、あまり、突然そういう日程はどうしたものかなという心境もあるわけでございます。まちづくり委員会もいよいよ大詰めを迎えてまいりましたので、できるだけ多くの方が出席をしていただいて、この会が進めばというように私は考えておりますが、そういったことで私の意見として言わせていただきたいと思います。

芦刈会長（三重町長）

はい。そのような意見があったわけでございますが、ほかにございませんでしょうか。ほかにご意見ございませんでしょうか。はい、先ほどの町村長連絡会でもそのことを、一応確認をしたところでございますが、そういうことで、ぜひ三重町のまちづくり委員会につきましても、ご協力をいただきたいというふうに思っておりますけど。

小野委員（三重町新市まちづくり委員会委員長）

帰って皆さんと話してみないと分かりませんけれど。今までの状況ならよろしいのですが、ちょっとだけその他の委員が、時間がないということで心配をしております。私の意見として申し上げておきたいと思えます。

芦刈会長（三重町長）

ご協力をよろしくお願いいたします。はい、ほかにございませんか。今後のスケジュールにつきましては、そのようなことで決定をさせていただいてよろしゅうございますか。はい、ありがとうございました。はい、それではその他の方で、別に式次第にあります以外に、事務局ありませんでしょうか。ないですね。事務局としてはないようでございますが、委員の皆様から何かありますでしょうか。はい、どうぞ。

生野委員（三重町議会議長）

三重町の生野ですが、8月23日の第21回協議会で確認決定をされておりますが、協議第71号の地域審議会等の取扱いにつきまして、確認のためにお尋ねいたしたいと思っております。議事録を振り返ってみますと、芦刈会長が、地域審議会の取扱いについて最後のまとめでございますが、原案の通りということで、よろしゅうございますか。それでは付帯事項の確認を致しまして原案の通りとさせていただきたいと思えますが、賛成の方の挙手をお願いしますと。そして、はい、ありがとうございますと。以上で協議第71号につきましては協議を終わらせていただきますとありますが、新聞紙上では、全会一致であったが、2、3の委員が挙手をされてなかったということであるが、会長はどのようにとらえておるのかお尋ねを致したいと思えます。

芦刈会長（三重町長）

はい。今の生野委員さんのことについてお答えをさせていただきますが、私と致しましては、全員の委員の皆さんが賛成をしたというふうに認めておりますが。

生野委員（三重町議会議長）

全員の、これに対しましての賛成というようなことでございますね。

芦刈会長（三重町長）

はい、私はそういうふうに認めておりますが。

生野委員（三重町議会議長）

はい、分かりました。

芦刈会長（三重町長）

よろこびますか。

生野委員（三重町議会議長）

はい。

芦刈会長（三重町長）

はい、そのほか、その他の項でございませぬでしょうか。よろこびますか。はい、以上で議事として出されました2件、継続協議を含めてでございませぬが、それから、報告事項等につきましてご協議をいただきまして、誠にありがとうございました。

皆様方の議事の進行のご協力に対しまして、感謝を申し上げ議長の座を降ろさせていただきます。どうもありがとうございました。

赤嶺事務局長

それでは、閉会のごあいさつを副会長であります山中町長の方からよろしくお願いいたします。

山中委員（緒方町長）

どうも、午後の会議でお疲れでありました。以上ですべての会を閉会致します。ありがとうございました。

会長（三重町長）

議事録署名委員

大野町町長

犬飼町議会議長